

令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	2 年	学科	生物生産科	必選	選択
教科	農業	科目	果樹	単位	2 単位
使用教材	教科書:果樹(実教出版株式会社)				
学習目標	① 果樹の生産と経営について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ② 果実の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③ 果実の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
単元と内容					
1 学 期	○果樹とは ○果樹の種類と果樹栽培の動向 P-7 ・果樹の種類と果実の利用 ○果樹の生育と栽培環境 P-21 ・果樹の生育と生理 ・果樹栽培と環境(ブドウ、リンゴ、オウトウ、カキ)		果樹とは、どのような作物かを理解する。		
			果実の食料的価値及びその特徴を理解する。		
			果樹の生育・栽培管理について、置賜地域の品目(リンゴ、オウトウ、ブドウ、カキ)を中心に理解する。		
2 学 期	○果樹の生育と栽培環境 (ブドウ、リンゴ、オウトウ、カキ) (プロジェクト学習) ・生育と栄養 ・果樹栽培の一生 ・栽培管理の現状		環境条件(気温、日照、降水量、風、土壌、水分、栄養)が、果樹の生育にどのように影響するのかを理解する。		
			栽培環境に合わせた栽培管理について理解する。		
3 学 期	○果樹の栽培管理 ・結果習性について ・整枝、剪定の基礎 ○プロジェクトのまとめ ・年間栽培管理のまとめ		果実の生産性と結果習性について理解する。		
			整枝・剪定技術の基本を習得する。		
			プロジェクト学習をまとめることにより、1年間の振り返りができ、今後の栽培管理について考えることができる。		
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	果樹の生理・生態的な特性や生産及び生育環境を理解し、知識と技術を習得している。			
II	思考・判断・表現	果樹での学習成果を、主体的に分析、考察、評価してまとめることができる。			
III	主体的に学習に取り組む態度	果実の生産と経営に関する課題を発見し、日頃の学習と関連付けながら主体的に学ぶことができる。			
評価方法	観点 I		観点 II		年間時数
	定期テスト 実習記録シート 観察(授業態度・服装)		定期テスト 実習記録シート プロジェクト活動の発表と報告書 観察(授業態度・服装)		予定
					62 時間
					実施
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			